

## 答申 修正新旧比較表

旧	新
<p><b>答申</b> (略)</p> <p>諮問された経営戦略改訂版(案)は、「鴻巣市下水道事業経営戦略(平成31年3月)」策定以降の公共下水道事業の現状と課題を把握するとともに、将来の人口減少や、老朽化を踏まえた施設の更新需要、維持管理費の反映を行い、持続可能なサービスの提供が可能な事業計画の見直しが図られています。</p> <p>また、各施策の推進によりSDGsの達成を目指すものとなっており、令和10年度までの事業計画としておおむね適切な計画であると認めます。(略)</p>	<p><b>答申</b> (略)</p> <p>諮問された経営戦略改訂版(案)は、「鴻巣市下水道事業経営戦略(平成31年3月)」策定以降の公共下水道事業の現状と課題を把握するとともに、将来の人口減少や、老朽化を踏まえた施設の更新需要、維持管理費の反映を行いました。</p> <p><b>また、基本理念である「豊かな自然と快適で安心な暮らしを未来へつなぐ 鴻巣の下水道」を実現するため、</b>持続可能なサービスの提供が可能な事業計画の見直しが図られています。</p> <p><b>さらに、</b>各施策の推進によりSDGsの達成を目指すものとなっており、令和10年度までの事業計画としておおむね適切な計画であると認めます。(略)</p>
<p><b>目標実現に向けた基本方針及び施策について</b> 【基本方針(1)未普及地区の解消】</p> <p>汚水を速やかに排除し、市民の快適で衛生的な生活環境を保つため、また、公共用水域の水質保全のため、引き続き市街化区域を中心とした下水道の整備を継続されたい。(略)</p>	<p><b>目標実現に向けた基本方針及び施策について</b> 【基本方針(1)未普及地区の解消】</p> <p><b>水洗化を進めることにより</b>汚水を速やかに排除し、市民の快適で衛生的な生活環境を保つため、また、公共用水域の水質保全のため、引き続き市街化区域を中心とした下水道の整備を継続されたい。(略)</p>
<p>【基本方針(5)経営の安定化】 (略)</p> <p>また、使用料収入で汚水処理費用を賄いきれず、一般会計からの補助金に依存した事業運営となっている。</p> <p>地方公営企業における経営の基本である独立採算による事業運営が可能となるよう、受益者負担の原則にのっとり、一般会計からの補助金に依存しない事業運営に努めるとともに、財源確保のため、早急に下水道使用料水準の検討をしていただきたい。</p>	<p>【基本方針(5)経営の安定化】 (略)</p> <p>また、使用料収入で汚水処理費用を賄いきれず、一般会計からの補助金に依存した事業運営となっている。地方公営企業における経営の基本である独立採算による<b>事業運営を実現されたい。そのためには受益者負担の原則にのっとり、一般会計からの補助金に依存しない事業運営を図るとともに、</b>財源確保のため、早急に<b>適正な下水道使用料</b>の検討をしていただきたい。</p>
<p>【基本方針(6)管理体制の効率化】</p> <p>今後、職員数が限られる中、施設のストックマネジメントをはじめとする施策を実行するにあたり、実施体制を確立する必要がある。(略)</p>	<p>【基本方針(6)管理体制の効率化】</p> <p>職員数が限られる中、<b>今後、施設のストックマネジメント等</b>を実施するにあたり、<b>体制</b>を確立する必要がある。(略)</p>
<p>【基本方針(7)広報活動】</p> <p>下水道施設を次世代に引き継いでいくために、市民に下水道を意識し、理解してもらうことや協力してもらうことを目標に、事業者として努力をしていただきたい。そのためには、インフラの老朽化による施設更新の必要性など、下水道事業が直面する課題について、ホームページの充実やイベントの開催など、様々な情報発信手段を用いて周知を図られたい。</p>	<p>【基本方針(7)広報活動】</p> <p>下水道施設を次世代に引き継いでいくために、市民の下水道<b>に対する意識を促し、理解や協力を得ることは必要不可欠である。</b></p> <p><b>下水道に親しみを持ってもらうためにマンホールカードの配布など下水道のイメージアップを図るよう、事業者として努めていただきたい。</b></p> <p>また、インフラの老朽化による施設更新の必要性など、下水道事業が直面する課題について、ホームページの充実やイベントの開催など、様々な情報発信手段を用いて周知を図っていただきたい。</p>